

9月号

発行所

熊本県 大津町
大津町 中央公民館

印刷 大津 坂本印刷所

広報

おおづまち

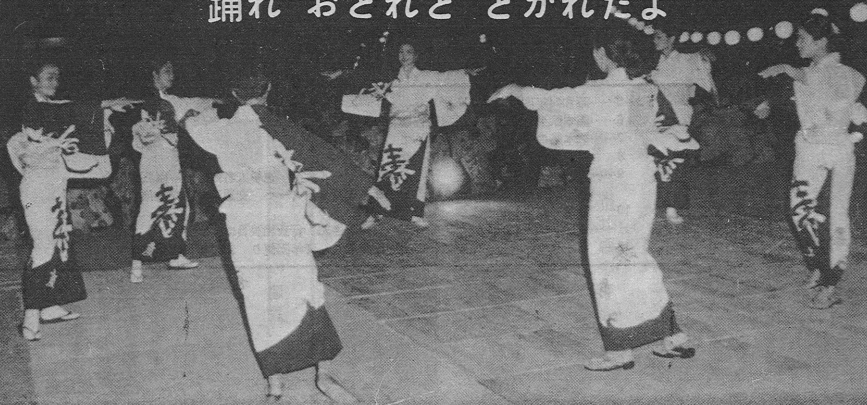
№. 234 昭和45年9月発行 毎月1回発行

人口の動き

出生	20
死亡	12
転入	76
転出	81
人口増減	4,500
人口	18,979
男性	9,101
女性	9,880

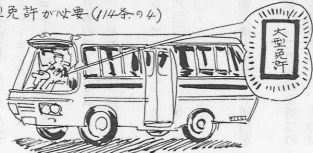
引越をしたら14日以内に
役場の窓口へ 必ず届出
(転入転居)をしましょう

大津娘のそろいのゆかた
...はずむ太鼓と結んでは
踊れ おどれと とかれたよ



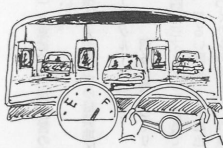
8 マイクロバスの運転資格が強化されます。

大型免許が必要(114条の4)



施行期日より6ヶ月間の猶予期間が
あります

9 故障車両による交通妨害を排除します。



高速道路を通行
する場合燃料不足
車内や整備不良
車両の運転を禁
止する
(75条の11)



今月のポイント

車の点検を確実にしよう!!

車が正しく運転されるためには、運転する人の技術
が大切なことは言うまでもないことです。それと同時
に忘れてならないのが、車の点検です。特にブレーキ
の点検整備には、細心の注意をはらって下さい。車は
あなたの身体と同じです。

3~5.....昭和44年度決算のあらし

6.....熊本県東振興大会 東振興協議会

7.....熊本県の東生産者をお招きして

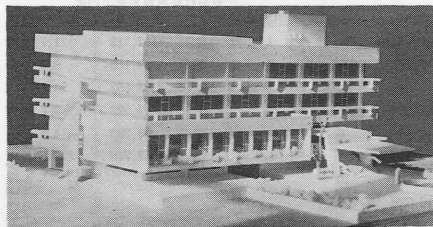
8 武山鋳造 中央可鍛工業誘致決る

9.....米生産調整確認終る 郡子どもソフトボール大会 選挙人名簿縦覧 園芸講演会
第十回菊池郡消防操法大会 苦情など国税モニターへ 交通事故無料法律相談

10.....善意 金婚おめでとう 戦没者饗宴

11.....表彰 老人福祉週間よせて 一日お父さん 行政相談員に手紙を

12.... 白バラコーナー 県勤労者美術展作品募集 青年団便り 教育委員会便り 年金



要がある。
三、九三三円の基金積立を行った。

昭和44年度決算のあらまし

昭和四十四年度大津町の一般会計及び特別会計の決算は九月の定例町議会に提案して認定を受けましたがその概要をお知らせします。

積立金の造成

三、九三三円
財政調整基金については庁舎建設事業費に充当のため、三十三、三十四年の二ヶ年で六一、〇〇〇千円の取りくし行つてゐるので、今後は財政のゆるす範囲において、出来るだけの積立を行ない、将来の事業に対する経営資金、その他特殊な財政の健全なる運営を図る必

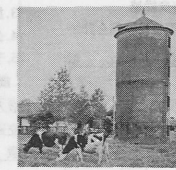
要がある。
三、九三三円の基金積立を行った。

庁舎建設事業 一三三、七二四円

昭和四十三年度より二ヶ年連続の庁舎建設も冷暖房完備の近代的建物で四十四年九月三十日予定通り完成しました。四十四年の庁舎建設費は一三三、七二四円となり、建設費総額は一五七、五六八千円になります。

農業振興費

二八、六六七円



農業振興
施策とし
て、畑地
灌漑事業
を始めと
して養蚕
果樹等の
特殊作物
及び優良家畜導入補助、畑地総合整備事業、農道整備事業等の振興育成並びに整備に努めた。

干害恒久対策事業 三、〇五八千円
畑地帯のボーリング 七、二二〇千円
畑農路事業 三、〇四一円
岩坂農道 八、六六〇千円
優良家畜導入補助 六、六六〇千円
農協育成(遠東会) 三、三七六千円
養蚕六五〇千円 栗振興三三三円
一般農道整備 五、三六七千円
等を投資し振興に努めた。

農業構造改善事業 五八、九一三円

農業構造改善事業の第二目は錦野地区圃場整備事業を次のとおり実施した
内牧地区九、二ha 一三、〇二四円
錦野地区一五、二ha 一八、二二二円
岩坂地区三四、六ha 二五、九九一円
換地及び区画整理 一、六八六千円の事業費となり、農業近代化の基礎づくりにつとめた。

国土調査

一、六〇七千円

昭和四十一年度より始まつた、国土調査も例年計画に基いて順調に実施し、

四十四年度は平川地区の一部三平方キロメートルについて調査を実施した。



造林事業

七、二二三円

造林計画に基いて町有財産の造成につとめ、四十四年度は補植四十三、四ハクタール、七六二円、保育四五三、四ハクタール、六、一七二円、防火線二九〇千円を投資し、長期健全財政の確立につとめた。

商工振興費

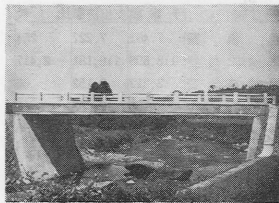
三、一一〇千円



商工会助成 九七九円
店舗改善利子補助 一、〇六一千円
つじ祭助成 四四〇千円
円、鈴蘭灯助成 一〇〇千円、
商工青年会議所 一五〇千円、その他四二〇千円等の助成をもつて商工振興につとめた。

道路橋梁費

五四、八一九千円



道路維持費

四、八五五千元

新設改良費

四二、二三四千元

の投資をもつて町道の維持及び新設改良に努力を傾注すると共に、県道についても七、七三〇千円の負担金を納め舗装するなど、道路整備につめた。

住宅建設事業

一八、〇九五千元



住宅建設五年計画に基いて大字大津五石団地に第一種八戸六、六六六千円、第二種六戸一、四二九千円を建設し、住宅難の解消につとめた

消防費

二、八〇八千元

小型動力ポンプ五台二三八〇千円、火の見櫓四ヶ所一六八千円、防火水槽一

二ヶ所二六〇千円その他ポンプ倉庫、消火栓などの整備を行い、消防施設の充実に努力した。

災害復旧費

一〇、九六七千元

公共土木災害復旧三十八ヶ所

四、七八五千元

農林施設災害復旧三十ヶ所六、一八二千元

等被災ヶ所の復旧につとめた。

教育費

六〇、一四三千元



一般的に年次、児童数の減少と相俟つて学級数の減少する傾向がみられる現状であり、教育効果の低下するおそれもある。
四十四年度は綿野、瀬田小学校を廃止し、教育向上を図る意味から統合小学校として東小学校を四九、八九九千円で建設すると共に、危険箇所の指定を受けていた陣内幼稚園を五、五八四九千円で建設、スクールバスの買替二、七九〇千円又教習所、中島公民館の改築その他一、八七〇千円等社会教育施設の充実に図った。

以上が昭和四十四年度中に実施した主なる事業である。
各会計別の決算の状況は別表の通りであります。

歳入歳出差引残額三、三九三千元は翌年度へ繰越

款	予算額	収入済額	比較
1.町税	93,436	94,929	1.488
2.自動車取得税金交付	4,000	5,865	1.865
3.地方交付税	188,683	191,178	2.495
4.交通安全対策特別交付金	300	262	△ 38
5.分担金及び金負担金	7,779	7,224	△ 555
6.使用料及手数料	12,840	13,280	440
7.国庫支出金	59,435	60,598	1.163
8.県支出金	127,239	125,191	△ 2,048
9.財産収入	39,165	39,560	395
10.寄附金	1,440	1,360	△ 80
11.繰入金	41,000	41,000	0
12.繰越金	26,749	26,750	1
13.諸収入	7,243	9,849	2.606
14.町債	72,100	72,100	0
歳入会計	681,409	689,141	7.732
款	予算額	支出済額	比較
1.議会費	11,834	11,738	96
2.総務費	189,468	186,897	2.571
3.民生費	52,552	52,145	407
4.衛生費	15,177	14,269	908
5.労働費	340	340	0
6.農林水産業費	139,542	136,211	3.331
7.商工費	6,839	5,259	1.580
8.土木費	79,723	79,458	265
9.消防費	8,136	7,511	625
10.教育費	122,320	120,185	2.135
11.災害復旧費	12,006	11,761	245
12.公債費	32,476	31,974	502
13.予備費	10,996	0	10.996
歳出合計	681,409	657,748	23.661

—(5)—

歳入 プルドーザ特別会計

款	予算額	収入	済額	比	較
1.使用料及手数料	1,869	1,551	△	318	
2.財産収入	1	0	△	1	
3.繰入金	125	124	△	1	
4.繰越金	100	100		0	
5.諸収入	100	26	△	74	
歳入合計	2,195	1,801	△	394	

歳出

款	予算額	支出	済額	比	較
1.プルドーザ費	2,122	1,705	△	417	
2.公債費	30	0		30	
3.予備費	43	0		43	
歳出合計	2,195	1,705		490	

歳入歳出差引残額96千円翌年度繰越

大津町外5ヶ町村共有財産管理事務特別会計

款	予算額	収入	済額	比	較
1.財産収入	1	0	△	1	
2.負担金	600	600		0	
3.諸収入	567	989		422	
歳入合計	1,168	1,589		421	

歳出

款	予算額	支出	済額	比	較
1.総務費	1,142	1,067		75	
2.子備費	26	0		26	
歳出合計	1,168	1,067		101	

歳入歳出差引残額522千円は翌年度繰越

歳入 住宅改修貸付資金特別会計

款	予算額	収入	済額	比	較
1.国庫支出金	347	347		0	
2.町債金	1,000	1,000		0	
3.繰入金	74	74		0	
歳入合計	1,421	1,421		0	

歳出

款	予算額	支出	済額	比	較
1.総務費	73	56		17	
2.事業費	1,348	1,348		0	
歳出合計	1,421	1,404		17	

歳入歳出差引残額17千円は翌年度繰越

直診勘定

款	予算額	収入	済額	比	較
1.診療収入	6,341	7,219		878	
2.使用料及手数料	8	12		4	
3.財産収入	53	53		0	
4.繰入金	2,368	2,368		0	
5.繰越金	837	838		1	
6.諸収入	29	39		10	
歳入合計	9,636	10,529		893	

歳出

款	予算額	支出	済額	比	較
1.総務費	5,653	5,561		92	
2.医療費	3,247	3,231		16	
3.施設整備費	597	551		46	
4.公債費	110	109		1	
5.予備費	29	0		29	
歳出合計	9,636	9,452		184	

歳入歳出差引残額1,077千円は翌年度繰越

交通災害共済特別会計

款	予算額	収入	済額	比	較
1.交通災害共済費	2,372	2,276	△	96	
2.繰越金	1,500	1,632		132	
3.諸収入	6	43		37	
歳入合計	3,878	3,951		73	

歳出

款	予算額	支出	済額	比	較
1.総務費	3,700	3,071		629	
2.予備費	178	0		178	
歳出合計	3,878	3,071		807	

歳入歳出差引残額880千円は翌年度繰越

一般会計性質別歳出内訳

区分	決算額	比率
人件費	142,712	21.7
物件費	59,165	9.0
建設事業費	355,652	54.1
積立金	3,923	0.6
その他の経費	96,296	14.6
合計	657,748	100.0

国保特別会計(事業勘定) 単位千円

款	予算額	収入	済額	比	較
1.国民健康保険税	45,954	45,928	△	26	
2.使用料及手数料	60	38	△	22	
4.国庫支出金	84,930	89,289		4,359	
3.県支出金	18	20		2	
5.財産収入	406	404	△	2	
6.繰入金	61	60	△	1	
7.繰越金	11,832	11,832		0	
8.諸収入	428	1,182		754	
歳入合計	143,689	148,753		5,064	

歳出

款	予算額	支出	済額	比	較
1.総務費	7,481	7,227		254	
2.保険給付費	118,598	116,181		2,417	
3.保健施設費	2,217	2,152		65	
4.基金積立金	2,458	2,458		0	
5.諸支出金	2,378	2,373		5	
6.予備費	10,557	0		10,557	
歳出合計	143,689	130,391		13,298	

歳入歳出差引残額18,362千円は翌年度繰越



県下の生産者一〇〇〇名 大津町に集う

八月十九日、二十日の二日間、大津小学校講堂で開催された第六回熊本県栗振興大会は、来賓、栽培者共に大多数をお迎えして誠に盛大な大会でした。

第一日の八月十九日は、各生産地の代表約八十名による大津町内の栗モデル園視察、引き続いて研究討議が開かれました。

各生産地代表の時間を忘れての熱心な討議と助言者の各先生方の適切な指導により、栗栽培者、関係者にとつて誠に意義深いものでした。

当大津町も栗部会役員始め多数の代表を送り熱心な討議を行いました結果大津地方の栗栽培も益々発展するであろうと確信いたしました。

第二日目八月二十日午前十時受付と同時に県下各生産地代表一千余名が大津町瀬田、木村市郎氏のモデル園を視察の後、大津町有志による舞踊、大津中学校生徒のブラスバンドで華々しい大会の幕が切つて落れ、熊本県副知事始め多数の来賓の祝詞を受け盛大な大会でありました。

熊本県の栗もここ二、三年素晴らしい伸びをみせ茨城県にも劣らぬ栗生産県に浮び上つて参りました。

大津町の栗は植栽後順調に進展し昭和四十一年の栗部会発足と相まって力強い生産団地としての基礎固めが出来上つて参つた様でありました。

この大会を契機に大津町は熊本県は勿論全国的にも有数な、生産団地が出来

上るものと信じております。

次いで各生産地代表による体験発表が行われ、当大津町も「菊池東部の栗の現状と今後の振興対策について」と云う事で発表いたしました。

今後は出荷、販売は勿論、栽培管理等一糸乱れぬ統制がなされ大いなる飛躍

大生産団地を目指す

栗振興協議会

本協議会は、大津町を中心に合志町、菊陽町、西原村を含む隣接四ヶ町村により日本一の広域生産団地を目指して役場農協生産者によつて誕生した組織であることはすでに御承知の通りであります。

今後の農業経営の中で栗の経済性を確立するためには大同団結することが必須の要件であり従来の一農家、一農協、一町村単位の組織では産地競争ですでに一步のおくれを生じていると認識を深め近隣四ヶ町村の栗の栽培者を主体とした組織の再編成強化すること

がなされるものと期待されています。現在菊池東部の栽培面積四二七ha総生産量二五〇tであります。

今後昭和五十一年には面積五二〇ha、出荷量五〇〇tを目標にいたしておりますが、今日の素晴らしい進捗を考えますと、目標を大きく上回るだろうと推察されます。球磨郡代表、鹿本町代表の発表に次で、一般参加者による全体討議がありましたが、各生産地に於ける数人、問題点の発表、各助言者の適切なアドバイスと時間を忘れての討議が続きました。

今後とも数多い困難が立ち向つて来ると思われますがたとえどんな逆境に見舞われまいと私達には日本一の栗生産地を作る夢があります。

又、それが任務でもあります。この大会が盛大に行われ、盛大のうち閉会いたしました事を栽培者の皆様と共に喜び、今後大津町の栗振興が益々発展することを祈念いたします

とによつて栗の振興を図る大基盤確立の第一歩が印されたものであります。各町村の役場農協共に組織活動のアドバイザ的な役割を果たすにとめている

た町村間の連絡又は各種団体との情報も密になつて生産活動の技術の普及流通機関の中での情報キャッチも速かに出来る様になり農業経営に大きなプラスを生じて来た現状であります。

その後更に菊池郡四水町、西合志の二町の組織が主旨に賛同されて参加を望まれ大栗産地への飛躍をとげて茲に貴

録充分な組織が強化充実されました。この生産者組織並に各種団体の指導と御協力によつて漸次は正強化して最も有意義な日本一の栗の産地として自

負出来る大栗生産団地を確立その名声を天下に響かせたいと、念願いたして

おります。

栗生産者をお招きして

不退転の決意で大同団結しよう

町長 坂 本 篤 美

熊本県の栗生産者をお迎えして、この度第六回熊本県栗振興大会が本町で開催されました。旭、県内各地から熱心な栗生産者の皆様が多数御参加頂き盛大に開催出来た事は、大津町としてこの上もない光栄でありますと共に本町は勿論この地域一帯の栗振興に益することと誠に多大であり、心から感謝申し上げます。

大津町では昭和三十六年春、大津町農業改良普及所のおすめですで町内各地に栗栽培が始められ今年には丁度十年目に当ります。

此の間三十九年凍害並にキイ虫の大発生、四〇二年以降連続四年の大干ばつ或いは昨年から今年にかけてのがね虫の異常発生等、全く予期しない問題点の試験を受け、一方では町全体の出荷量の増加による販路の開拓に、素人なりの苦勞もございましたが、あらゆる困難にひるまず、ひたすら、関係機関の御指導に従ひ且、又県内先進地同志の助言をいただきながら努力してまいりました。

「艱難汝を玉にす」という諺の通り、凍害は栗の生理の本質把握の好機となり、四年連続の大干ばつでは栗の気象災害への強さを認識し、反つて栗園経営に自信を得る、好結果となり、当初町で計画しておりました昭和四十五年度中二〇〇ヘクタールの予定が四十四年度中に概ね達成された様な次第であります。

本町と致しましても一応昭和五十一年度三〇〇ヘクタール、六十年年度五〇〇

ヘクタールを目標に、経営面積の拡大を計画しておりますが、新興産地のため、生産流通或は組織作り等で山積する問題を抱えております。

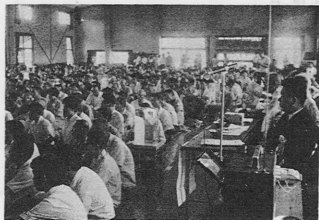
今後、指導、研究機関を始め、先進地同志各位の適切な御指導のもとに、精勵精進するならば、近い将来に於いて必ず日本有数の産地になれると言う事を確信しております。

故て第六回熊本県の栗振興大会の大津町開催を要請致しました所似でございます。

尚大局的に見れば熊本県は一部の先進を除き栗の園地栽培の歴史は日尚浅く又旧産地も夫々問題をおもさでであろうと思ひます。

従つて、この大会では栗経営農家の経済的安定向上を目指して、万般に待り研究討議がなされると思ひますが特に熊本県そのものが、一つの大きな生産団地であるという認識の上に立ち個人或いは地域の特性を生し乍ら小異を捨て、大同団結して問題解決に取り組むと言ふ不退転の決意を天下に誇示する事が必要かと存じます。

本大会が従来の慣例を破り、二日間亘りしかも本産地で開かれます事は、執行部の栗振興に対する積極姿勢の表示であり、私達生産者の決意と相俣つて数多くの問題が速急に解決される事を願つてやみません。参加者の皆様に心から歓迎の意を表しますと共に所懐の一端を述べ本大会の御成功を祈念致しまして、大会によせる言葉と致します。(大会挨拶より)



誘致決る

武山鑄造株式会社
中央可鍛工業株式会社

町では総合農政推進の一環として工場誘致に力を入れているが、今回男子の雇傭場を誘致するため、鋭意用地交渉中であつたが、このほど地権者のご協力により無事解決して八月二十八日松古岡公民館にて内金を支払うに至つた。

誘致する工場は名古屋に本社を有する鑄鉄の大手メーカーで主として自動車部品及工作機械を製作している。

武山鑄造株式会社

資本金三、〇〇〇万円 従業員一五〇名

中央可鍛工業株式会社

資本金六〇、〇〇〇万円

五四〇名

工場敷地は室町上の台地(産業開発青年隊西)で各工場共五町余りの敷地を確保している。

採掘開始は昭和四十七年の予定

又両工場共研修生を目下募集集中である。給与その他は経済課へ問合せ下さい。研修生は約二年の予定で各五〇名

国勢調査

十一月一日

国勢調査はわが国全体の人口の大きさだけでなく、都道府県や市町村ごとの人口の大きさや、男女別、職業別などの構成あるいは世帯数および構成を明らかにして、国はもとろん、都道府県や市町村の行政にも直接役立つ資料を得るために行なわれているのです。

大正九年に第一回調査が実施されて以来、五年ごとに行なわれており、今回調査は、第一回調査以来数えて、半世紀を迎える記念すべき調査です。

また今回の調査は十年に一度の大規模な調査にあたつては、国際連合が提唱している一九七〇年世界人口センサスの一環ともなるものです。

調査の結果は雇用、産業、教育、住宅、社会福祉、環境衛生、交通、防災などの対策や議員定数の決定、財政需要額

の算定などに欠くことのできない資料として用いられます。

本町では一〇一の調査区が設けられ、調査員九七名につて調査に当たります。尚調査員が十月一日の一週間前から、担当調査区内の各世帯に「調査票」をくばり、調査票の記入を依頼します。でよろしく御協力をお願い致します。

国土調査

本年は五、〇五平方キロ

本町では国土調査事業を四十一年から実施致しておりますが、既に陣川、下町、町、森、錦野、外牧、平川の一部一九、六平方キロ(一九六〇町歩)終り、本年度は総事業費五六二八千円で後記の地区五、〇五平方キロ(五〇五町歩)を実施致します。

既に本年度も八月一九日五社指名競争

入札を実施し担測量設計株式会社は二七三万円で施行する事になった。

測定の実施は九月以降になりますが、その前関係地元部落には、担当係員が向出き、説明会を開きます。

御外忙中御迷惑をかける事と思いますが、関係地区の所有者の皆様御協力をお願いします。

本年度国土調査実施地区

大字早川字水落、宮本、葉山、御所原、年神、小屋、猿渡、天神、寺町、新八原、平出、池ノ迫、姥ヶ平、作分、傾城平、中島、局水、高良の一部、松本の一部

野ねずみの一斉駆除

七月号(大津広報)で航空散布による一斉駆除実施についてお知らせしましたが、その後造林地の五アールに約一〇〇個のパツタリを設置して三日間生息調査を行いました。

その結果第一日目二八四、第二日目に二五四、三日目に二六四と共に七九匹の野ネズミを捕獲しました。

これは四月の生息調査の数値を大きく上回る大繁栄です。

この率からして全山林は繁殖のおそれがあります。

当町では約二〇〇〇haの山林、原野を対照に駆除実施するため八月二日より部落毎に懇談会を催しておりますがこれをまとめて九月定例町議会終了とともに実施する計画で準備をすすめていきます。

山林原野所有者の皆さん、御協力をお願いします。

散布薬剤の種類 ZP

経費 一ha当り二、〇〇〇円程度

補助金 一ha当り六、〇〇〇円程度

薬剤は人畜無害です。死んだネズミを大等が万一喰つても異状はありません

米生産調整確認終

町総合農政対策本部は、七月二十五日部会を開催、減反確認について打合せを行った。各部落の農託員を四班に分け各戸より提出の申出票によつて八月三日より八月七日まで確認が行われた。

減反割当時一〇九町五反あつた減反別も田の状態、各人の推量による申出もあつて決定した反別は九五町八反となつた。

従つて各人の申出票による反別よりも少なく決定している向もあるもので農託員が役場農政係へ問い合せ下さい。

郡子ども会
ソフトボール大会
中陣内子とも会三位

八月五日限府小学校で炎天下郡内町村代表七チームが出場。熱戦の結果中陣内子とも会は三位に入賞しました

選挙人名簿総覧

毎年九月十日は新たに成人になった人(昭和四五年九月二日迄の出生者)と新しく大津町に転入した人(昭和四四年九月七日、四五年五月三十一日迄の転入者)を登録する日です。

今年の定時登録日選挙人名簿に登録した人の名簿を左記に、より縦覧に供しますので、期間中に閲覧されるようお知らせします。

特に来年は多くの選挙が行なわれますので該当者は是非名簿を確認されるよう

うお勧めします。

期間 昭和四五年九月一日より一五日まで
時間 午前八時三〇分より午後五時
場所 大津町選挙管理委員会
(総務課内)

第十回
菊池郡消防操法大会

互例の菊池郡消防操法大会は八月二十一日七城町七城小学校グラウンドに於て盛大に行われた。

各町村より選ばれた選手により、可搬動力ポンプ、自動車ポンプの部に別れて、炎天下のもとで技を競い合い消防人としての志気を高めた。

成績 三位 大津町本部消防
(消防自動車ポンプ)

普請など国税モニターへ

所得税など国税についての不満や意見などを積極的にお聞きし、税務行政に反映させるため、国税モニター制度があります。

大津町のモニターは本町四丁目大塚鉄蔵さん(呉服店)です。

モニターは代弁者となつて皆さんと税務署の間のパイプの役割をつとめます税金や税務行政全般についてのご意見や苦情などモニターを通じてお寄せ下さい。

交通事故無料法律相談

交通事故問題で困つておられる方は無料法律相談所が実施されておりますので気軽にご相談して下さい。

相談日 毎週月、水、木、金曜日
時間 午前九時半から午後二時半
場所 熊本市京町一丁目二番一
号 熊本市弁護士会館内
交通事故相談センター 県支部

裁判費用がなくて、
お困りの方に費用を
立替ます

申込場所 熊本市京町一丁目二番一
一号

熊本市弁護士会館内
財団法人法律扶助協会
熊本市県支部

園芸同好会よりお知らせ
造園講演会

左記の通り講演会を開催致しますので同好会会員以外の町民の皆さんも御出席下さい。

日時 九月二十一日午後一時
場所 中央公民館
講演 造園に就いて
講師 大津農高 黒田先生

今日の日曜在宅医

20日馬場医院(2358)佐藤医院(2550)
野上医院(菊陽79)金田医院(2029)
27日馬場(豪)医院(2803)
大塚医院(2149)西村医院(2010)
竹田津医院(2521)
10月4日鈴木医院(菊陽5)(菊陽町)
福田病院(2771)中村医院(2016)
樋口医院(2415)
矢護川診療所(2889)
11日博美医院(2100)本多医院(2155)
柴田医院(2050)兼島医院(2340)



善意

老人ホーム慰問

衣料(ワンピース) 本町 東屋様
植木(ヘチ物) 室 大津農高様
金一封 仲町 鶴日子供会地蔵祭配分金

矢護川青年団代表岩下ヒロミ様

キャベツ 二K五〇〇

日吉町古閑大次様老人二人三三〇円宛

一六、二〇〇円

室旭ヶ丘山木、平川、上村、浅井様

二、〇〇〇円

大津町若草学園様 茄子 一七K五〇〇

カボチャ 一〇K

一町民(氏名不詳)現金五〇〇円

十九分団代表田村正則、岩本寛一様

六〇〇円

上欄三子とも会代表者菅野伸司様

一、〇〇〇円

本町一子供会代表者竹中秀明様

八四五円

十七分団子供会様

一、〇〇〇円

後追子供会代表者上野修一様四〇〇円

室二丁目子供会代表者太田、仁村本正

幸外四名様六〇〇円

金婚おめでとう

恒例の金婚夫婦の表彰(能日主催)が
一日役場会議室で行われ、二三組の方
々に表彰状及び記念品が贈られました
が町長からもそれぞれ記念品を贈り祝
福致しました。

松古閑 坂田浅八

引水 月尾義春

大林 村上久雄

室 大塚 油

上本 本町四

上大津 日野貴雄

平川 家入武一

林 勝男

府内 勝男

府内 武方

桐原秀雄

錦野 山野豊記

中学通り 坂本勝次

新内 永田 馬

松古閑 大久保末太郎

錦野 西田一雄

中学通り 田中初次

矢護川 宇野観龍

真木 大村清太

河内 正

戦没者叙勲

戦没者氏名 遺族名

旭七 今井 雄雄

旭八 緒方 強

旭九 松永 貴

渡辺 繁男

矢野 眞雄

本田美喜男

坂本 泰助

安永 実

末田 新

坂本 篤

堀内 眞二

佐田啓三郎

ハツメ

森

香典返し

社協一般寄附金

二〇、〇〇〇円 片又 村山 斎殿

一〇、〇〇〇円 亡妻マツヨ殿

一〇、〇〇〇円 吹田 西本辰喜殿

一〇、〇〇〇円 平川 亡母マツ殿

一〇、〇〇〇円 古庄武雄殿

一〇、〇〇〇円 亡母スギ殿

一〇、〇〇〇円 中学通 源徳美次殿

一〇、〇〇〇円 祖母松坂シダ殿

一〇、〇〇〇円 矢護川 西島 久殿

五、〇〇〇円 亡母シズ殿

亡父寅記殿

田代紀雄殿

亡父寅記殿

オギヤール献金

一、〇〇〇円 平川 中野茂男殿

二、〇〇〇円 上陣内 山中 勲殿

一、〇〇〇円 平川 古庄豊美殿

五〇〇円 矢護川 藤坂重美殿

善意銀行

預託 労働口座

引水老人クラブ会員十名、老人憩の家

草取奉仕

現金口座

役場内 月尾節男殿 捨得金百円

引水子とも会一同 地蔵祭のおさい

銭の中から千円

銀治の上子とも会一同 地蔵祭のお

さい銭の中から四百貳拾円

若草学園

心配ご相談

毎週火日午前十時〜午後三時

無料、秘密厳守

場所 老人憩の家内

一〇、〇〇〇円

故河田式雄様の香典返し

一、〇〇〇円

引水子供会様

地蔵祭配分金寄附

吉住 健様

靴(女子)

桜町

老人福祉週間によせて

九月十五日は「敬老の日」です。例年九月十五日から九月二十一日までを老人福祉週間としていろいろな行事が行われています。

人は必ず一度は老人となる運命にあります。長く生きぬいてこれた老人のために家族の生活の本拠であり憩いの場である家庭においては老人の福祉を高めるために次のようなことについて御協力をお願い致します。

- 一、家内そろって団らんのある生活をつくり「お祝いさん、おばあさんありがとう」と感謝しましょう。
- 一、老人の健康を図るため食生活を工夫しましょう。
- 一、老人にふさわしい役割について考えましょう。
- 一、老人クラブへの参加をすすめるその育成をはかるようにつとめましょう。
- 一、老人に慰問の手紙を送りましょう。
- 一、敬老の日には国旗を掲げ老人のしあわせを祝福しましょう。

一日お父さん

町内母子家庭の小中学生四十五人は十八日午前八時半から貸し切りバスで大分県飯田高原勝湯温泉に招待、慰安激励した。

途中、瀬の本高原のクジャク園、九電の地熱発電所などを見学、赤星助役、石崎町議長、民生委員なども一緒にス



彰 表

菊池水源に招待



八月六日役場独身職員は毎年一回年末に夏に生保及び母子家庭の児童を招待しているが、今年も去る八月六日菊池水源に招待、ゲーム等で楽しい一日を過ごしたこれは本年で七年目である

行政相談委員に手紙を

行政相談委員制度が発足して十年目になります。皆さんに行政相談委員を知っていただくため九月を「行政相談委員に手紙を出す月間」として設けました。行政相談委員は、行政管理局長官から委嘱された方です。国の行政について困っていること、納得のいかないこと、或いは判らないこと、またはこうしてはいいこと等、ききたいこと、相談したいことがあります。どんなことでも結構ですから、行政相談委員に気軽に「ガキ又は手紙で申し出てください。委員は秘密を守り、親切に無料で相談に応じます。」

行政相談委員

合 志 武 一
大津町大字中島五二

今月の行政相談日

九月二十一日 午前十時から午後三時迄 役場会議室
九月三十日 午前十時から午後三時迄 憩の家

白バラコーナー



義をみてせざるは勇なきなり

「本道に人間としてしなげばならぬ
いと知りながら、なおしなないのは勇気
が無いからである」と孔子さまが言
っている。そういふことをよくわきま
えながら、しない、あるいはできない
のは、勇気がないからで「あやうきに
近よらず」などいってはいは、いつま
でも明るい社会にならないのです。
明るい社会、明るい政治を築くために
勇気をもって、買収供応などにまげな
い正しい選挙を行ないたいものです。

県勤労者美術展
作品募集

十一月二十六日と三十日 鶴屋ホール
撤入 十一月十九日と二十一日
県労政事務所
作品 絵画、書、写真
県内各事業所に勤務するアマチュアに
限る

青年団便り

地区対抗ソフトボール
八月三十一日男女混合ソフトボール大
会を開催した。
一位 大津 二位 杉水 三位 室
県青年総合祭出場

たばこは地元で
買いましょう

たばこ消費税
7月分 1,695,090円
累計 6,878,890円
旅行には町でたばこを
買ってでかけましょう

陣内地区演劇が会場づくも優勝を逃
し二位に入賞した。

教育委員会便り

若草学園プール竣工
工費六〇万円で宇都宮建設の工事に
よって竣工八月二十一日プール開きを
行い大津中水泳部の模範泳法などが披
露された。

大津小学校プール建設

文部省補助も決定し、県下に珍らし
しい鋼板カラー仕上げのプールに生れ
かわることになった

総工費 九四〇万円
二五m×七コース

大津中女子バスケット北九州大会へ

今夏の大会で県優勝を遂げた女子バス
ケットチームは県代表として北九州大
会に出場、長崎三井隊中を破り更に優
勝候補福岡機田中と対戦惜敗したが三
位に入賞した。

選手 今村よね子、木村優子、山口と
も子、徳永裕子、樋口きみえ、樋口美
恵子、米田陽子、藤本君代、村本まき
子、高木小夜子、大塚京子

今月の家庭教育講座

護国地区 十四日テーマ 夫婦けんか
瀬田地区 二十一日 幼稚園の習慣づけ

年金

所得比例制年金がはじまります

「たとえ高い保険料をかけても高い年
金がほしい」という多くの方々の必要
望にこたえて新しく所得比例制がとり
入れられ、この十月からはじまります
この所得比例はいまかけている保険料
のほかに、所得比例保険料をかける
と老令年金に所得比例年金が加算される
しくみです。

所得比例制に加入するかしないかは自
由になつておりますが、あなたの年金
をより大きく育てるために、ぜひこの
制度に加入されるようお勧めします。

加入出来る人は

加入出来る人は
（青色事業専従者で所得ある人
国民年金の被保険者で所得ある人
所得なくとも加入出来ます）

加入出来ない人

加入出来ない人
（高令任意加入被保険者
（五年年金加入者）
（定額保険料の納付を免除されてい
る人）（国民年金基金の加入者

所得比例保険料は月三三〇円

加入者	納付期間	定額部分	所得比例分	計
夫	25年	月8,000円	月4,500円	月12,500円
妻	〃	〃	0	8,000
計	〃	16,000円	4,500円	20,500円

加入者は定額の四
五〇円と合せて毎
月八〇〇円の保険
料を納めることにな
ります。

所得比例年金は二
十五年納付で五四
〇〇円

納めた期間一月に
ついて一八〇円の
割合で計算した
額で、夫婦二人の
年金は上記のよう
にして計算された
ものです

加入手続

加入申出書は年金
係に用意してあり
ますので印鑑持参
の上届出て下さい